



〔第22回全国豊かな海づくり大会〕

天皇皇后両陛下御来県

11月16日から19日にかけて、天皇后両陛下が、第22回全国豊かな海づくり大会への御臨席と、県内事情御視察のため、本県へ御来県されました。

両陛下は、17日に佐世保市のアルカスSASEBOで開催された大会式典に御臨席され、九十九島を臨む西海パールシーリゾートで、トビウオなどの稚魚を御放流されました。その後、初めて平戸、生月などの北松地域、五島地域を御視察されました。

この間、お立ち寄り先や各所においても、多くの県民の皆さんの歓迎を受けられ、親しくお応えになられました。



〔「歴史文化博物館」の基本的な設計を発表〕

長崎奉行所立山役所を一部復元

11月6日、県と長崎市が、県立美術館博物館跡地に建設を計画している「歴史文化博物館」の基本的な設計を発表しました。

博物館は、平成17年度秋のオープン予定で、鉄筋コンクリート3階建て、延べ床面積約9,800㎡。1階は多目的室、体験学習室などの生涯学習に役立つ空間になります。2階は本県の海外交流史をテーマとする常設展示室のほか、江戸時代の長崎奉行所立山役所の一部を往時のままに復元整備し、3階には大きな展覧会も開催できる企画展示室があります。

詳しい内容は、県のホームページ
<http://www.pref.nagasaki.jp>



〔県交通局の移転新築〕

新庁舎で出発式

1月24日、長崎市八千代町への交通局本局と長崎営業所の移転新築工事が終わり、同所で出発式が行われました。

都市計画道路浦上川線の建設に伴い、同線の建設用地になっていた旧庁舎から移転したもの。新庁舎は鉄筋4階建てで、敷地内には最大でバス102台分の駐車が可能です。

県交通局では、旧庁舎よりも市の中心部に近くなったことから、これまで以上に効率的な運行をめざします。



〔県立虹の原養護学校「開校記念式典」〕

1人ひとりが主役

11月30日、4月に大村市内に開校した県立虹の原養護学校の「開校記念式典」がありました。

新しい校舎は、小学部、中学部、高等部の子どもたち1人ひとりが、学校生活の主役となれるよう施設や設備にさまざまな工夫が凝らされ、知的に障害がある子どもたちの学校としては、県内で唯一、寄宿舎を有しています。

また、11月16日には、天皇后両陛下をお迎えして、生徒たちによる龍踊りを披露することができました。児童生徒にとって一生忘れることのできない貴重な体験となり、新しい学校のすばらしい門出となりました。



〔県ライトミュージックフェスティバル開催〕

ロックやポップスを披露

11月24日、大村市のシーハットおおむらで、県内のミュージシャンが、ロックやポップスなど軽音楽を披露しました。

今回の大会は、第14回県民文化祭の一環で、同文化祭で軽音楽に限定してのコンサートは初めて。42組の出演応募があり、事前審査で選ばれた6組がステージに上がりました。

出演団体は、ギター・ソロからビッグバンドまで多彩で、訪れた観客も手拍子を送るなど盛り上がりしました。



〔第18回県地域文化章〕

5団体が受賞

11月20日、地道な文化活動を続け、地域の向上や発展に貢献した団体などを表彰する、第18回県地域文化章に5団体が選ばれ、授与式が行われました。

受賞したのは、長崎ランタンフェスティバル実行委員会(長崎市)、YOSAKOIさざば祭り実行委員会(佐世保市)、千綿人形浄瑠璃保存会(東彼杵町)、神代小路まちなみ保存会(国見町)、対馬ちんぐ音楽祭実行委員会(美津島町)。

このうち、長崎ランタンフェスティバルは、長崎市の新地中華街での「春節祭(旧暦のお正月)」をもとに、中国文化や光をテーマに多彩なイベントを開催し、冬の観光の目玉となっており、多くの観光客が訪れています。



〔全国大会で優勝や最高賞の中学生、高校生〕

ロボット競技大会などで優勝

11月14日、ロボット大会や少年の主張などで優勝や最高賞を受けた中学生、高校生が、結果報告に県庁を訪れました。

岩手県で行われた「全国高校ロボット競技大会」で優勝した、大村工業高校の井原智徳さん、上戸正輝さん、西村考生さん、松尾隆広さん、山口芳紀さんたちは、製作した「PK²(バクバク)」で、自陣のボールを拾い上げ、相手ゴールに多く入れた方が勝ちという競技に参加し、192台のロボットの頂点に立ちました。

また、島原市立第三中学校の西誠さんは、東京であった「少年の主張全国大会」で、69万3千人あまりの応募の中から、最高の内閣総理大臣賞を受賞し、西海学園高校の椋本啓子さんは「全日本体操競技選手権大会」の種目別・平均台で優勝しました。



〔中国福建省の友好親善訪問団〕

県庁を表敬訪問

11月6日、中国福建省の友好親善訪問団が、本県と同省との友好県省締結20周年を記念して、県庁を表敬訪問しました。

金子知事は「7月に訪問した際は、たいへんお世話になりました。皆さんの熱烈な歓迎に感激しました。これからも友好を深めたいのでよろしく願います」とお礼を述べました。

団長である汪毅夫福建省副省长からは「金子知事が訪問した際に植樹したガジュマルは、緑が茂るほど成長し、友好のシンボルになっています」と再会を喜んでいました。